

令和元年（2019）5月 入域観光客数概況

5月の観光客数は、83万4,900人
対前年（H30）同月比 +4,000人、+0.5%
～5月の過去最高を更新～

入域状況

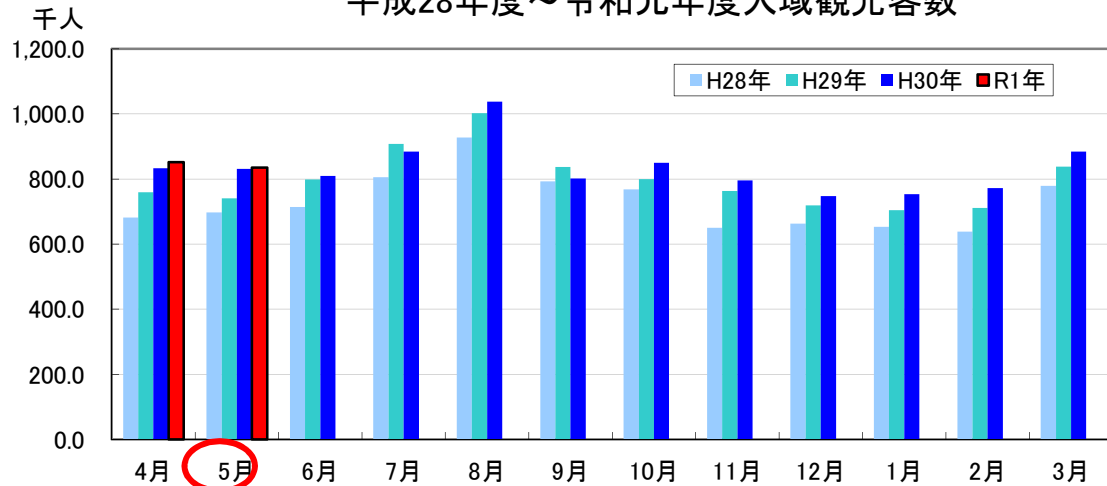
入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	566,500 人	514,600 人	+ 51,900人	+ 10.1%	67.9%
外国客	268,400 人	316,300 人	△ 47,900人	△ 15.1%	32.1%
合計	834,900 人	830,900 人	+ 4,000人	+ 0.5%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	566,500 人	514,600 人	+ 51,900人	+ 10.1%	70.7%
外国客	234,900 人	264,200 人	△ 29,300人	△ 11.1%	29.3%
合計	801,400 人	778,800 人	+ 22,600人	+ 2.9%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の臨時便の運航があったこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、旅行会社の商品販売強化の取組があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークが10連休となり旅行商品が高騰したことや、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

6月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	253,300 人	225,200 人	+ 28,100人	+ 12.5%	44.7%
関西方面	131,300 人	124,600 人	+ 6,700人	+ 5.4%	23.2%
福岡方面	69,100 人	64,900 人	+ 4,200人	+ 6.5%	12.2%
名古屋	47,700 人	42,800 人	+ 4,900人	+ 11.4%	8.4%
その他	65,100 人	57,100 人	+ 8,000人	+ 14.0%	11.5%
合計	566,500 人	514,600 人	+ 51,900人	+ 10.1%	100.0%

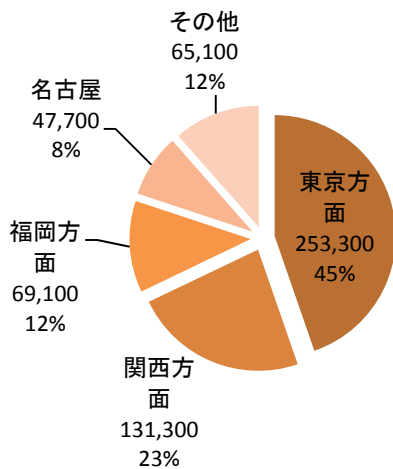
※国内海路客10,200人を含む(鹿児島2,400人、横浜4,000人、神戸3,800人)

外国客 国籍別入域状況

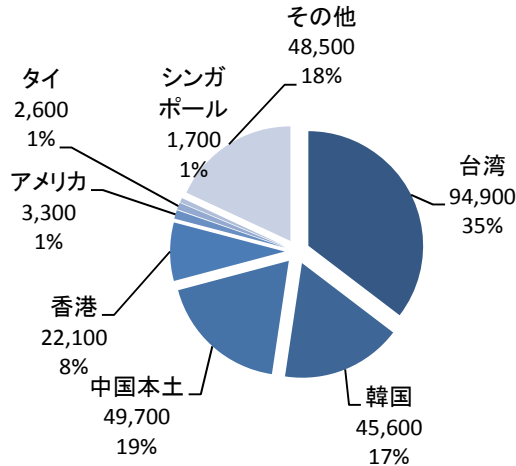
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	94,900 人	94,900 人	97,200 人	△ 2,300人	△2.4%	35.4%
韓国	45,600 人	45,600 人	48,800 人	△ 3,200人	△6.6%	17.0%
中国本土	49,700 人	49,700 人	71,000 人	△ 21,300人	△30.0%	18.5%
香港	22,100 人	22,100 人	21,100 人	+ 1,000人	+4.7%	8.2%
アメリカ	3,300 人	3,300 人	2,700 人	+ 600人	+22.2%	1.2%
タイ	2,600 人	2,600 人	2,900 人	△ 300人	△10.3%	1.0%
シンガポール	1,700 人	1,700 人	1,500 人	+ 200人	+13.3%	0.6%
その他	48,500 人	15,000 人	71,100 人	△ 22,600人	△31.8%	18.1%
合計	268,400 人	234,900 人	316,300 人	△ 47,900人	△15.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	62,100 人	62,100 人	+4.0%	38.3%	32,800 人	32,800 人	△12.5%	30.9%
韓国	45,500 人	45,500 人	△0.9%	28.0%	100 人	100 人	△96.6%	0.1%
中国本土	22,800 人	22,800 人	+5.6%	14.0%	26,900 人	26,900 人	△45.5%	25.4%
香港	20,500 人	20,500 人	+22.8%	12.6%	1,600 人	1,600 人	△63.6%	1.5%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+16.7%	1.3%	1,200 人	1,200 人	+33.3%	1.1%
タイ	2,500 人	2,500 人	△10.7%	1.5%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
シンガポール	1,600 人	1,600 人	+23.1%	1.0%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
その他	5,200 人	5,200 人	+4.0%	3.2%	43,300 人	9,800 人	△34.5%	40.8%
合計	162,300 人	162,300 人	+4.8%	100.0%	106,100 人	72,600 人	△34.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、旅行会社の商品販売強化の取組があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売が良好であることや、一般団体旅行の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

福岡

5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から、前年を上回った。

6月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、小規模の団体旅行の予約が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や搭乗率が良好だったこと等から前年を上回った。

6月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、ダイナミックパッケージの販売が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

台湾

5月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

6月は、航空路線が前年同月並みに推移するものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

5月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、韓中関係の改善による中国への渡航需要の回復やベトナム人気など渡航先の多様化等から、前年を下回った。

6月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、仁川-下地島間のチャーター便の運航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土

5月は、労働節休暇による旅行需要の高まりが期待されたものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

6月は、端午節休暇による旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。

香港

5月は、仏誕節休暇による旅行需要の高まりや、香港発のクルーズ船の寄港が増加したこと等から前年を上回った。

6月は、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定であることや、LCCの香港-那覇路線の運航再開が予定されていること等から、好調に推移する見込み。